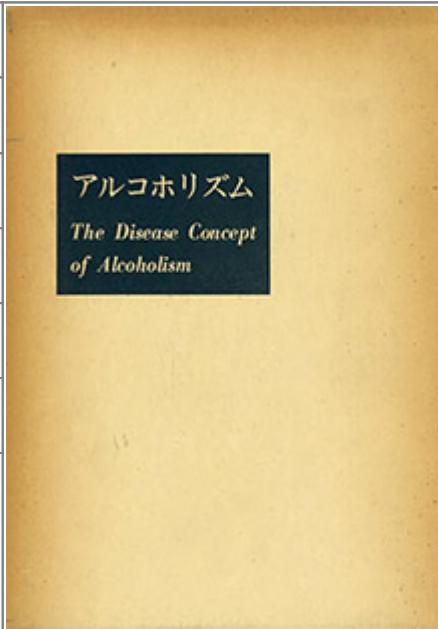
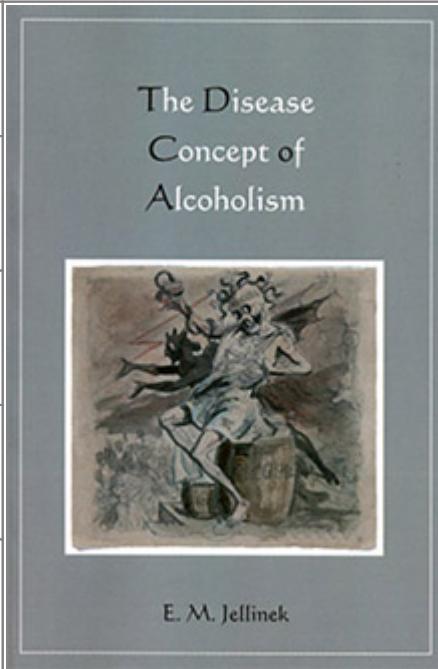


アルコホリズム：アルコール中毒の疾病概念

書名	アルコホリズム
副題	アルコール中毒の疾病概念
版	
著者	E・M・ジェリネク
監修 訳	羽賀道信 加藤寛/訳
出版年	1973
ISBN	
出版社	岩崎学術出版社
備考	絶版 amazon.jp Google Books https://www.kosho.or.jp/top.do



原著	The Disease Concept of Alcoholism
副題	
版	
原著者	Elvin Morton Jellinek
出版年	1960
ISBN	1578989361
出版社	Martino Fine Books
備考	amazon.jp



解説

「アルコホリズムは一つの疾病である」という基本的な考え方のもとに、ジェリネックは従来の古典的、不明瞭なアルコホリズムの概念を整理しようと試み、25年にわたって着々と研究を続けてきた。その成果は見事に本書の中に凝結されている。

□□□

もともとアルコールが他の薬物中毒と著しく異なる点は長期間にわたってアルコールをかなり大量かつ持続的に飲用していても、抑制喪失、禁酒不能などがみられないばかりでなく、非常に健康な生活を送っている者が存在する事実であり、ジェリネックはアルコホリズムの概念の中に必ずしも

大量飲酒のみを条件としないことをにおわせている。これに対し飲酒抑制の喪失および禁酒の不能という状態を重視し、アルコールに対する病的欲求、禁断症状などという機制に対する考察を行なっている。新井尚賢「推薦のことば」p.2-3

From:
<http://www.ieji.org/wiki/> - 心の家路



Permanent link:
http://www.ieji.org/wiki/books/alcoholism_jellinek

Last update: **2020/02/14**